

第4次国有林野事業流域管理推進アクションプログラム (鬼怒川・渡良瀬川流域)

1 流域の特色(国有林 85千ha、民有林 131千ha)

- ① 鬼怒川流域(国有林82千ha、民有林61千ha)は、栃木県の中央部に位置し、世界遺産に指定された日光の二社一寺や中禅寺湖、戦場ヶ原等優れた自然景観と多くの温泉群が所在し、国際的な観光地となっている。

また、首都圏の水源であること、男体山に代表される崩壊地の多い急峻な地形も多く、大規模荒廃地の復旧が進められている足尾地区も所在していることから、国有林のほとんどが公益林に位置づけられている。

更に、保護林を結んで野生生物の種の保全や遺伝的な多様性を確保するため、国有林の2/3が、緑の回廊に設定されている。

- ② 渡良瀬川流域(国有林3千ha、民有林70千ha)は、栃木県の南西部に位置し、古くから木材生産が盛んな鹿沼・栗野地域は、木材の集散地としても大きな役割を果たしている。

国有林のほとんどは、渡良瀬川源流部に所在し、スギ・ヒノキを主体とした人工林が、6割以上を占めている。

2 流域内で優先的に取り組むべき課題

- ① 治山事業の実施による安全・安心の確保
- ② 低コストな作業システムの推進
- ③ 効果的な獣害対策手法の確立
- ④ 都市住民等に森林整備体験等のフィールドの提供

3 国有林野事業に対する流域内のニーズ・要望

- ① 計画的な木材供給の推進
- ② 森林施業の効率化・共通化等の取組
- ③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業体の育成
- ④ 生物多様性保全に配慮した取組の推進
- ⑤ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

4 国有林野事業が率先して行う取組

- ① 計画的な木材供給の推進
 - ア) 目標
地域への木材の安定供給
 - イ) 連携・協力機関
流域森林林業活性化協議会
 - ウ) 取組方向

木材需給に関する情報提供

② 森林施業の効率化・共通化等の取組

ア) 目標

低コストな作業システムの推進

イ) 連携・協力機関

地元自治体、関係林業事業者等

ウ) 取組方向

情報交換のための現地検討会の開催

③ 林業技術の開発・普及・啓発、林業事業者の育成

ア) 目標

林業の担い手育成への協力

イ) 連携・協力機関

県、関係林業事業者等

ウ) 取組方向

国有林を研修等のフィールドとして活用

④ 安全・安心への取組

ア) 目標：治山事業における成果の周知

イ) 連携・協力機関：日光市

ウ) 取組方向：継続的な治山事業施工箇所を活用した治山技術の普及・啓発

⑤ 生物多様性保全に配慮した取組の推進

ア) 目標

多様で健全な森林の整備

イ) 連携・協力機関

地元自治体、宇都宮大学、関係林業事業者等

ウ) 取組方向

・人工林における広葉樹導入施業の実施

・クマ被害対策手法の効果調査の実施

⑥ 上下流の連携強化のための下流住民等に対する情報提供、林業体験活動等

ア) 目標

森林環境教育の推進

イ) 連携・協力機関

地元自治体、教育関係機関、ボランティア団体等

ウ) 取組方向

・小中学生等への森林教室及び体験林業の実施

・森林整備ボランティア等へのフィールド提供と技術指導

流域名・流域番号	渡良瀬川 (38) 鬼怒川流域 (39)	担当部署	日光森林管理署
計画期間	平成22年4月1日～平成25年3月31日		